

日本脳炎予防接種を受けられる方へ

1. 病気について

◆ 日本脳炎

日本脳炎ウイルスの感染でおこります。ヒトから直接ではなく、ブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介されます。7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。ヒトからヒトへの感染はありません。

感染者のうち、100～1,000人に1人が脳炎を発症します。脳炎のほか、髄膜炎や夏かぜ様の症状で終わる人もあります。脳炎にかかった時の死亡率は約20～40%ですが、神経の後遺症を残す人が多くいます。

2. ワクチンについて

◆ 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン（不活化ワクチン）について

新しく開発されたワクチンで、ペロ細胞という細胞でウイルスを増殖させ、ホルマリンなどでウイルスを殺し（不活化）、精製したものです。

◆ 副反応

第1期で旧ワクチン（マウス脳由来日本脳炎ワクチン）を接種した9歳以上13歳未満の小児112症例中21例30件の副反応が認められた。主な副反応は、注射部位紅斑11件、注射部位腫脹10件であった。

（阪大微研製ワクチン添付文書より引用）

3. 予防接種を受けることができない人

- ① 接種直前の体温が37.5℃以上ある人
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 予防接種に含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたりしたことのある人
- ④ その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した人

4. 予防接種を受けた後の注意

- ① 接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすることはやめましょう
- ② 接種当日は接種部位を清潔に保ち、いつも通りの生活をしましょう
ただし、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう
- ③ 高熱やけいれんなどの異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください